

ちば通研だより No.498

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所: 〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX: 043-247-1201 E-Mail: syuwa@nifty.com URL: <http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

「聞こえない人のこの問題あなたならどう関わる?！」

～ちば通研集会～

2023年度のちば通研集会と同様に千葉市中央コミュニティセンターに集合して協議します。

今年は3つの分科会に分かれ、提起した課題に対し聴覚障害者、通訳者、それ以外(サークル員、市民、役所や事業所)それぞれの立場でできる解決策(問題点や関われること)を検討し、今後の専門班や地域班等の活動に繋げていきます。

また、活動をレポート化し各集会に繋げていきたいとも思っています。
是非、多くの方に参加していただき、活発な意見交換をしましょう。

日 時: 2024年10月14日(月・祝) 10:00～15:50

会 場: 千葉市中央コミュニティセンター

参加者: 会員・きこえない方(手話通訳付き)

申込締切: 2024年10月10日(木) (チラシ参照)



全通研創立50周年記念 シンボルマーク
愛称は「ふいーる(feel)」です。可愛がってね。

8月28日時点でのちば通研の会員数は307人
(読者会員会員数は13人)
2024年度の目標数は330人です
数は力! みんなで会員を増やしましょう～

かごしま集会 報告

8月23日～25日の3日間、サマーフォーラム in かごしまが鹿児島市内で開催されました。開会式は、西郷隆盛像の近くの宝山ホールで700人を超える参加者の下、行われました。デフリンピック・能登支援・特別報告があり、その後、記念講演でした。写真を多く写して鹿児島の魅力をアピールしてくれました。

交流会は、山形屋というデパートの7階のレストランでした。アトラクションやご当地クイズなどはありませんでしたが、その代わりにテーブルの仲間と長く話すことができました。

2日目は鹿児島大学のキャンパスで4つの講座と6つの分科会が行われました。皆さん、熱心に聞いたり、発言されたりしていました。

3日目も同じ鹿児島大学でした。11時30分から閉会集会です。会場にはたくさんの参加者が集まりました。こども企画の子どもたち一人ひとりが自分の名前を手話で表すなどして発表がありました。その後、主催者のあいさつがあり、引継式になりました。来年は京都です。お互いの記念品の交換が終わり無事に集会を終了することができました。

千葉県聴覚障害者協会後援会で作ったストラップはお陰様で完売できました。たまたま隣りの場所の徳島支部の方が手伝ってくださりとても助かりました。ありがとうございました。
(広報部長 渡辺 正夫)

かごしま集会 感想

A講座②川薩コースに参加しました。1日目は見学です。まず、今年で創立10周年を迎えた薩摩藩英国留学生記念館。鎖国の中、若き薩摩藩士達が2か月間密かに密航の機会を待った羽島、13才～32才の若き19名の薩摩スチューデントたちが外の世界で受けた衝撃や帰国後の活躍などを大変分かりやすく説明していただきましたし、展示もされていました。見晴らしの良い展望デッキも好天に恵まれて最高でした。次の見学は、甲冑工房丸武。多数の甲冑が展示されていました。丁度、昼休憩時間とぶつかり、職人さん方の実働の様子は見学できず残念でしたが、細かい部品作業に分れているようでした。昼食後、3番目の見学場所はオガタマ酒造です。焼酎が各種並べられていて、焼酎の種類について簡単な説明を受けた後、試飲しました(私はなめただけ)。2日目は、鹿児島大学で、鹿児島県工業技術センター 安藤義則氏による講義でした。白麹・黒麹・白系サツマイモ・赤系サツマイモの試食もしました。休憩時間には昨日に続き、各種の焼酎の試飲(減圧蒸留の魔王もあり)もしました。第2希望にまわされて残念でしたが、②コースも大変興味深く、勉強になりました。

(市原班 川田 扶美子)

8月23日から開催されたサマーフォーラム in かごしまに参加した。私にとって3度目のフォーラム参加だ。初日の開会式では、勇壮な九面太鼓の演奏に感動した。一条乱れぬ圧巻なパフォーマンスは、すべての人が引き込まれただろう。記念講演会のテーマは『見て！感じて！鹿児島の歴史と文化』だった。地元のNPO 法人代表の東川隆太郎氏が熱く語られた。鹿児島のたんかみさん(田の神さま)のお話もとても興味深かった。交流会ではきびなごや薩摩黒豚等の地元の料理がふるまわれ、待望の焼酎を堪能し、満喫した。テーブル同席メンバーの自己紹介の際には、それぞれ『肉じゃがには何を入れるか?』を各々発表した。牛肉、豚肉、鶏肉、肉なし等・子どもの頃の話も加わり、盛り上がった。かく言う私の実家の肉じゃがは、今は亡き父の好物のすっぽんだった。幼少時には苦手だったすっぽんだが、今では懐かしい味だ。京都から来られた聴こえない方とすっぽん、京おでんについてたくさん話した。次回は京都での開催、来年に向け公私共に精進したい。

(市川班 中村 ゆかり)

関東支部代表者会議 報告

7月28日(日)10時~12時、東京の文京区民センター3階会議室にて、支部代表者連絡会議が行われました。出席者は、本部理事3人を含め16人でした。

主な議題は、令和6年度事業についてでした。とりわけ11月10日(日)山梨で開催予定の関東討論集会と前日9日(土)の記念行事について、時間をかけて具体的な内容やスケジュールを確認しました。詳細はチラシをご覧ください。また、関東通研20周年記念誌の内容についても話し合われました。



今後の担当者会議については、9月が健康対策、11月は「研修センターを学ぼう」、1月は広報研究誌を予定しています。全てオンラインで開催する予定です。

昨年度から、他支部の行事の案内がMLで皆さんのもとへ届いているかと思えます。支部の枠を超えて学び合うことを目的としています。同時に、自分たちにはない視点を他支部から学び、自分たちの企画をより充実したものになりたい！という思いもあります。

ご興味のある企画に、奮ってご参加ください！！

(支部代表者 高橋 悦子)

関東組織担当者会議 報告

7月28日(日)、午後1時から文京区民センターにて組織担当者会議が行われ、参加してきました。参加者は、講師1人、本部理事3人、支部から18人、全部で22人が参加しました。

本部の北海道の吉野理事を中心に、全員参加型で進められました。

関東の主に組織担当者が集まり、議題として、①地域の活動や会員拡大について、②役員の手について、③次世代を担うN-Actionメンバーの活動などについて、活発に意見交換をしました。



全通研の支部リーフレットやホームページの活用についても情報交換されました。情報がたくさんあり自分たち支部の活動の参考になりました。

それぞれの支部が取り組んでいるいろいろな工夫などの発言があり、和気あいあいの雰囲気の中、時間が経つのも忘れ、あっという間の時間を過ごしました。

最後にまとめとして、役員をしていくこと、人材を育てていくことは難しい。これからの活動に繋げていくために一緒に考え、前に進めていけると良いと思いました。初めて組織担当者会議に参加しましたが、参考になりました。

(組織部員 中山 直子)

データ配信している会員へ

- 1 「全通研 NEWS」、「読みたい見たい」 → 毎月20日頃に全通研 HP に掲載。
(現在、上記2つは、会員皆さんに印刷して配布していません)
- 2 「関東手話通訳問題研究集会 in 山梨」「創立20周年記念事業」
- 3 「ちば通研集会」
→ 2と3は、ちば通研 HP 会員専用ページ『学習』に掲載。

※こまめに HP (ホームページ) をご覧ください。

「ろう重複者とともに よしえが語る！」 Vol.6

「仲間とボランティア」

みなさんは「どんぐりの家」をご存じですか？ 埼玉県にあるろう重複障害者の施設です。ろう重複障害者とは「聞こえない」障害にプラスして、「肢体」「視覚」「知的」「精神」などの障害を併せ持つ人たちのことです。

山本おさむ氏の漫画「どんぐりの家」（全7巻）が平成5年に発行され、平成8年には映画「どんぐりの家」の上映会が各地で行われました。上映会を通じて、ろう重複障害を知り、支援の必要性を感じ、千葉県内にもろう重複障害者施設が必要との気運が醸成されていったように記憶しています。

私たちは「つくる会」の時から、施設利用者を「仲間（なかま）」と呼んでいます。仲間のことをより多くの方に知っていただくために、「仲間とボランティアの交流」や「仲間を増やすための企画」をみんなで考え実施してきました。

その中の1つがサマーキャンプです。平成14年7月は鴨川、平成15年7月は佐倉草ぶえの丘、平成16年8月は葛西臨海公園で行いました。手探りながらも行事が定着し、笑顔が増えていったことを覚えています。サマーキャンプでは直接コミュニケーションをとり触れ合う中で、お互いに理解が深められるよう、聞こえない人と聞こえる人がバディを組んで行動をともにしました。私自身、これからの活動につながる大切なことをたくさん学びました。

平成17年2月には、チャリティーコンサート「天上の弦」の上演もありました。聞こ

えない人たちにバイオリンの音色を感じてもらうにはどうしたらよいか？と、皆で試行錯誤し、大きな風船を抱いて振動を感じてもらうことになりました。

また5つのブロックが独自のチャリティーイベントを開催して、地域の方々に、ろう重複障害者の理解を広め、資金造成に努めました。行事の際はその都度、構成団体に呼び掛け、ボランティアを募りました。この時にボランティアとして関わってくれた皆さん・・・もう20年も前のことになるのですね。今も行事や手話サークル、全通研活動で顔を合わせることができ、とてもうれしいです。

たくさんの人達の手で立ち上がった「らいおん工房」ですが、最初に集まった仲間は3人だけでした。制度として最低限5人の仲間が必要でしたので、構成団体でさらなる啓発の企画を考え、千葉ろう学校への呼び掛けもしました。当初から「やらせる作業ではなく、仲間自身が得意とすることを取り入れた作業にしよう」という方針があり、そんならいおん工房の良さが保護者や関係者の知るところとなって、徐々に仲間が増えていきました。

このような取り組みを積み重ね、実績を作り、仲間を増やし、行政の理解を得るというろう運動の意義を構成団体の1人として、間近で感じられたことは貴重な経験でした。

さて、次号からはそれぞれの施設について紹介することにします。

（飯泉 よし江）

次回に続く⇒

特集 全通研創立50周年記念 ちば通研版 「全通研とわたし」

VOL. 9

「松戸市から保育活動にかかわり始めました」

松戸班 高橋 久美子

私が手話を学ぶきっかけは、高校のボランティア活動でした。

高校の福祉委員会に所属し養護施設の清掃手伝いや赤い羽根共同募金活動に参加していました。

高校のボランティア研修で出会った友達が、手を動かして楽しそうに話をしている姿を見て、聞こえない人とも話ができるんだ。私もおしゃべりしたいなって思いました。当時私は、沼南町の高校に通っていたので、学校帰りに通える手話サークル「まこもの会」に入会しました。「指文字でしりとりすると覚えられるよ」と教えてもらい、帰りのバスなどで指文字を覚えました。手話の語源を学び、一つ一つの手話を覚えて、片言だけど話せることが楽しかったです。ろう者の方が根気よく私の相手をしてくださったおかげだと思っています。

高校を卒業後、地元の手話サークルに通おうと松戸市の手話サークル「ゆうかりの会」に入会しました。そこで活動するようになって、保育士の仕事も決まって働くうちに、その頃私には雲の上の存在だった岩下さんから「全通研の保育班の班長をやりませんか」と声をかけて頂きました。

全通研の会員ではありましたが、全通研の活動にはあまり参加していませんでした。松戸のサークルに保育士の小林さんがいたので、一緒に班活動を始めました。全通研に位置する保育班とは何だろうと考え、行事のときに保育を担当したり、聞こえない人達の子育ての話を聞いたりする場として「ミニ講演&座談会」を開きました。子育て経験の中から、今だから話せる、聞けることなどについて座談会を通して情報共有できたらと思いました。講師は、自分のいる地域のろう者の方をお願いしたり、ろう学校の先生にも来ていただいたりして色々なお話を聞き、少しの時間ですがみんなで共有する場になりました。医療班の班長だった坂本先生にも応援をいただいて、とても心強かったです。班活動としては、年1回座談会、行事のときの保育、班員との保育の学びや情報共有といった感じでした。周りからは、保育班の活動が見えないとの指摘を受けて、保育班のあり方を見直し、班名も「保育・子育て支援班」と変えました。そして行事のときの保育をやめて、今後の保育に活用できるようにと保育に関する事項をまとめた保育マニュアルを作成することにしました。保育ボランティアにあたる人達が、子どもの情報を得て子どもの安全を考えながら保育してくれたらとの思いを込めて作成しました。

私が保育班の班長になって、他県の保育班の情報を得たいと思い全国集會に参加しましたが、参加されている方達は、組織・労働・医療・教育・通訳などの分野でした。「保育」と言っただけで、あまり興味を持たれず、他県には保育班というものはなく、女性部の一環の扱いでした。「保育って必要ないんだ」ってショックを受けたことを覚えています。千通研の専門班に保育があるのに、全国で手話通訳の問題を考えると教育が優先で保育は二の次だったり後回しにされたりしていると感じています。子育てすることは親の役目だけど、周りのサポートがなければ育児に悩んだり解決できないこともたくさんあったりします。

赤ちゃんのうちに少しでも聴力があれば聴力を補える、『人工内耳』があると聞いて、人工内耳について色々学びたいとの思いで「座談会」を開催しましたが、その頃はまだ人工内耳についての情報が乏しく、参加された方からも「もっと人工内耳についていろいろと話が聞けると思ったのに」とがっかりされたこともありました。人工内耳の実績や検証する年数が少なく、確かな情報が得られていないのも事実でした。あれから20年近く経っていますから、いろいろな情報も得られると思います。実際に自分が働いていた保育園に通う子どもの兄弟が人工内耳の手術を受けたことを聞いたこともあります。少しでも可能性があるならと願う気持ちもわかります。子どもにとって最良の方法で、健やかに育ってくれたらと思います。

今は、班長も笠松裕子さんから渡辺裕美さんへ変わって、切磋琢磨しながら細々と活動を続けています。ろう教育とも違いますが、子どもの成長には必要なことがいっぱいあると思います。これからも模索しつつ、子育て支援を応援できたらいいなと感じています。これからも「保育・子育て支援班」をよろしくお願いします。

医療班コーナー



今回は『喘息』について

病態

空気の通り道である気管支（気道）が慢性的な炎症を繰り返すことで、気管支が狭くなります。

アレルギー体質の人（アトピー性皮膚炎や食物アレルギーを持っている人）は発症しやすいといわれています。

原因

アレルゲン（アレルギーの原因となる物質）〔ダニやカビなどのハウスダスト、ペットの毛、花粉など〕を吸い込むことで起こります。

その他、風邪・運動・煙草・気温や気圧の変化など様々な刺激が原因になります。

症状

- ・咳や痰、息苦しさ
- ・呼吸時にヒューヒュー、ゼーゼーという音（喘鳴：ぜんめい）が出る
- ・特に就寝中や明け方、季節の変わり目に症状が悪化しやすい

診療科

できるだけ専門医を受診 ⇒ 呼吸器内科、アレルギー科など

治療

吸入薬や飲み薬による薬物療法 ⇒ 重症度に応じて使う薬の量や種類を決定する

<その結果>

- ・呼吸機能の低下を抑える
- ・喘息死を避ける
- ・治療薬の副作用発現を抑えることができる

治療の進歩に伴い、喘息は適切な治療と自己管理を継続することで、症状なく健康な人と変わらない生活を送ることができる病気になりました。

喘息は慢性の病気です。

自己判断で薬を中止せず継続することが重要！

最近では夏でもインフルエンザが発症しています。
早めの予防接種を心がけましょう！

N-Action エヌアクション ちばのページ

初めましての方も！ 「N-Action ちば 茶話会」

2024年7月7日(日)12:00~14:00 Cafe&Bar UMI ラボ 千葉駅前店でN-Action ちば茶話会を開催しました。

参加者は19人(会員11人、きこえない人5人、一般3人)でした。入会して間もない方や、きこえない方、お子様など多くの人に参加いただきました。人数が多く、テーブルが離れてしまったのですが、テーブルごとにたくさん手話で話して交流を深めることができました。

また、今後の行事の参考にするために、参加者アンケートを取りました。いただいたご意見をいくつかご紹介します。



普段手話を使う方とお会いすることがほとんどないので、その空間にいれて嬉しかったです。次はもっと手話で話したいです！

このような交流会をゲームなど交えて行ったら楽しいなと思いました。例えば会場を借りて飲み物持参など。

僕にとっては楽しすぎて時間が足りませんでした！あとは席替えとかも検討しても良いかと思いました！

(N-Action ちば代表 上利理紗)



VOL.6

わっこ (矢吹和夏子) 今月のオススメ!



『手話通訳者全国統一試験をめざす人たちの学習教材 24』 2,750円

今年は12月7日(土)に手話通訳者全国統一試験が実施されます。受験される方には是非お薦めしたいのですが、まだ挑戦するか思案中の方にも手に取ってほしいです。

内容は筆記試験問題の過去問題・解答が入っておりDVDは場面通訳の説明と5人分(合格ラインをクリアされた方)の解答例が掲載されています。問題傾向も変化しており、昨年は場面通訳で聞こえない方が二人登場し、通訳をするという設定でした。これには目が点になりました。小さい目がさらに小さくなり固まってしまいました。(今年もチャレンジです)登録通訳者の方もご自身の研鑽で購入しているというお声も聞きました。お急ぎの方はメールにてお申込みください。

※申込は、ちば通研事務所まで アドレス syuwa@nifty.com
◎ちば通研では書籍等で販売による売り上げの一部をちば通研の活動に充てています。ぜひ、ちば通研から書籍等を購入頂けるようお願い致します。少しお時間が掛かり待ち遠しい気分ですが、ワクワクしている時間も大切です。



私のイチオシ

…海匠地域班…

美味しいものと温泉の大好きな私が、通研活動の中で楽しみにしていることは、各地で開催される集会に参加することです。

以前は、夏集会と冬の討論集会とあり、懐かしい思い出がよみがえります。

医療の分科会の後、夕方に一部屋をお借りして『聴障・医ネット』で学習会を行い、夜には交流会へ～とのパターンでした。

また「せっかく遠くまで来たのだから」と、集会の前後どちらかにもう一泊組み込んで、旅行気分を味わいます。

かなり昔のことですが、京都の集会では岩井さんのご尽力により、千葉の先輩方と一緒に『いこいの村』の併設施設に泊めていただき、若かりし大矢さんのお話を聞きながら、すき焼きを囲んだ思い出があります。

次の日には、梅ノ木寮・栗の木寮を見学しました。

沖縄では、焼失する前の首里城を見学。翌日は朝早くのドライブを楽しみ、シュノーケリングで魚と戯れたこともありました。

この紙面を読む頃には、鹿児島集会での思い出ハプニング話に花が咲いていることでしょう。

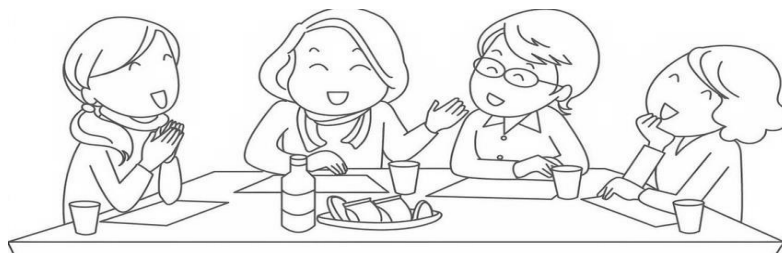
この全国集会の他に、秋にある関東集会、通称『関ブロ』が一番好きなのです。

なぜかという、参加者の顔を覚えられる交流しやすい規模だからです。特に、山梨・群馬・栃木での開催は温泉があるのでお気に入りです♥

近年、関東は泊りがけではなくなっているのが残念でなりません。

ところが今年、山梨で集会前日に関東通研の記念行事を行い、夜の情報交換会もあるようなので、さっそく皆さんも行ってみませんか？

(Y.W)



地域班通信

船橋班：夫婦でテレビのサラリーマン川柳クイズを見ていた時のこと。「妻自立子ども独立〇〇〇〇〇」これは私がすぐ当てた。「オレ孤立」そして次の問題「年ごとにスーツと妻が〇〇〇〇〇〇」すると今度は旦那が即答。「キツくなる」お互い相手のことはよくわかるらしい。36年連れ添った夫婦の悲哀？(N.T)

白井班：トルコキキョウを知っていますか？和名から誤解されやすいですがリンドウ科で、トルコではなく北米が原産。日本に入ってきたのは昭和初期で、その後品種改良が進み、今や全世界の品種のほとんどが日本産なのだとか。我が家のプランターも今まさに満開。花姿が優雅な上に、暑い季節に長く咲くので嬉しくて、毎日の水やりも楽しんでます。

富里班：猛暑の毎日、日傘が欠かせない通勤。そんな中、民家の庭先から顔を出す紫色のかわいい花に癒される。今どきはスマホで撮ると名前がわかる。なんて便利。「デュランタ」というらしい。今日も頑張ろう！！(K)

成田班：地球規模の猛暑になり何回暑い暑いと言ったことか。熱中症やコロナなどにも気を使い大変な毎日です。成田市へ転居した50年前は涼しくてエアコンなしで過ごしていたこと信じられないです。

流山班：ここにきて、ひざが悪くなり、両手母指の根元が痛くなり。仕事で1日中立ち座りや、座り込む子を抱き上げたり、走り出す子をおさえたりと、酷使が続いている。頸腕の時も同じだが手を使うことは生活の中心なのでかなり辛い。台所での洗い物も、洗濯物干したみも、水分補給の水筒を持つのも痛くて痛くて…(emiko)

市川班：今年市川市は市政90周年で、市内ではさまざまなイベントが実施されています。この関係か？9月末に「出張、なんでも鑑定団 in 市川」の収録があります。知ってる方が出演されるのか？どんなお宝が出てくるか？放映されるのが今から楽しみです。

印西班：市では7月21日に任期満了に伴う市長選に6人が立候補するという、かつてない激戦が行われました。これに先立ち、協会、サークル、地域班で公開質問状を送付し、2名が無回答。4名から回答を得ることができました。結果は無回答だった方は落選。丁寧な回答をくださった方が当選されました。今後の行政交渉に新たな展開を期待しています。(M)

千葉市班：「ねえ、老後の楽しみに連弾やらない？」と妹からの誘い。一緒に練習できるのは月に1回ぐらい。ピアノを弾くのは数十年ぶり。思うように指は動かないけれどとにかく楽しい。1年前、妹に病気が見つかり9月に手術。今も通院中ですが、おかげで元気になりました。こんな時間を共有できるのが何より嬉しい！ずっと続きますように…。

八街班：今年の6月から手話奉仕員養成講座、後期が始まり毎週講座に行くのが楽しく予習復習をするのですが、一人で勉強をしていると、この手話は、正しいのか間違えているのかが分からなくなることがあります。辞書を調べてスマホで検索して、もう一度DVDを見て口形を見ても助詞が、と、も、の、なのか分からなくなる。手話表現を見てどんな意味か分からない。どうしたら手話が覚えられるのだろうか？ 読み取りもできないという日々ですが、頑張って手話で会話ができるようになりたいです。

わかしお班：先日茂原の七夕まつりへ行きました。以前より遊びに来る人が減っているように感じ、少し寂しくなりましたが、よさこいは子供から大人まで迫力のある踊りを見せてくれて、感動しました。また、初めて見るマヨネーズ容器型の飲むプリンの屋台があったのも面白かったので、また来年も遊びに行きたいなあと思っています。(Y・K)

かずさ班：全然投稿してなくて、活動休止しているかと思われているといけないので登場させていただきます。毎月第2火曜日に4市（木更津・君津・富津・袖ヶ浦）の通研メンバーとろうあ協会の面々が定例会を開いています。6月には久しぶりに4市手話サークルろうあ協会の交流会もあり、この地域、盛り上がっていますよ。(J)

鎌ヶ谷班：全通研の会員1万人。わたしはそのうちの1万分の「1」、それでいいと思っていました。昨年副会長の高橋さんが講演されて、「1」は「仲間」と話されました。研究誌に登場する人も、ちば通研だよりに体験談など寄せてくれる人も「仲間」、急に頼もしい仲間が増えたようで嬉しくなりました。(MS)

六つ星班：私の尊敬する、NARUTO-ナルトのマイト・ガイ先生を紹介します。己の夢を失えば、おまえは今より苦しむことになる・・・辛いとき・諦めたくなることもあります。ガイ先生の言葉を思いだして乗り越えてきました。努力は必ず報われる！！ マイト・ガイ先生のような『カッコいい男！』じゃなくて『カッコいい女！！』になれるように、今日も私は頑張ります。

習志野班：「暑い・・・」この言葉しか出てこない毎日ですね。私は顔に大汗をかきますが、友人は背中に大汗をかくと言います。生まれた場所によって汗のかきかたが違くと、会社の同僚に言われました。ちなみに私は北の出身で、友人は南の出身です。汗のかきかたの話は本当でしょうか？

八千代班：パリオリンピック終了。当初は寝不足覚悟のリアルタイム観戦する熱意なし、録画は撮っとくだけ、いつか見るは見ないと同じ。だから結果を知るだけでいっか～と冷めていた。でも今回は連日の「熱中症アラート」のおかげもあり、パソコン見逃し配信で多くの競技を存分に楽しんだ。見始めたらやめられず結局寝不足。

市原班：この夏は昨年以上に、気温35℃超えの猛暑日が観測されたようですね。暑い日が続きすぎて、25℃以上の夏日、30℃以上の真夏日が何だか涼しく感じます。四季の移り変わりというより、夏か冬しかないんじゃないかと思ってしまう程。ネッククーラーや扇風機の代わりに、マフラーや手袋、カイロを使う時季が待ち遠しいです。

役員短報

日時：8月4日（日） 9:30-12:00

会場：オンライン

参加者：15人

<主な議題>

○三役

- ・手話考えるフォーラム
ちば通研担当の司会者・助言者などを決める。

○広報部

- ・9月号掲載記事の確認
- ・500号記念特集 歴代編集人に思い出を語ってもらう。
- ・年度末の印刷等について方法など協議した。

○組織部

- ・会員拡大 303人（7月31日現在）
- ・ちば通研講座Ⅱ
11月3日（日・祝） 13:30-15:30
松戸市健康福祉会館（ふれあい22）
ハイブリッド方式で開催する予定。
- ・地区講座や地域班の学習会に講師派遣事業を活用したときの参加費の取り扱いについて協議し確認した。
- ・地域班会議（オンライン）
9月1日（日） 9:30-12:00

○ICT ちば

総会の通知及びハガキについて申込フォームにて可能にするための方法について協議。

<部・班の報告>

○三役から

- ・三団体会議
7月29日（月） 19時開催
七イベントのお手伝い、お疲れ様でした。
- ・手話言語シンポジウム
8月10日（土） 13:30-15:30
千葉聴覚障害者センター

○広報部

- ・ホームページの行事予定を確認する。
間違っている場合はすぐに広報部へ連絡する。

○組織部

- ・災害メーリングリストが届かない地域班が判明した。該当の地域班には対応策を通知した。

○N-Action ちばの茶話会

- ・7月7日（日）千葉で開催。総勢19人参加。

○研究部

- ・ちば通研集会
期日候補日 10月14日（月・祝）
事例検討を中心に専門班ごとに分科会で実施する。

○TMG

- ・学習会 12月22日（日）東金市
講師：川根紀夫氏

○後援会

- ・後援会推薦理事については、欠員である北総からの候補者を選出する方向。

○関東手話通訳問題研究会

- ・前夜祭 11月9日（土）
歴代会長のパネルディスカッション
情報交換会
- ・集会 11月10日（日）
6分科会に分かれて協議。

今後の予定

- 9月1日（日） 地域班会議・役員会
- 9月7日（土） 全通研 Web アカデミー
- 9月12日（木）～15日（日）
全国ろうあ者体育大会（群馬）
- 9月14日（土） ろう教育班学習会
- 9月18日（水） 組織部会議
- 9月21日（土）・22日（日）
手話を考えるフォーラム in 流山
- 9月25日（水） 広報部会議
- 9月27日（金） サポーターズ印刷日
- 9月29日（日） 役員会・医療班学習会

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.coccan.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記アドレスへ。

E-Mail : syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本
名もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は9月15日(日)です。

E-Mail : c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX : 043-247-1201 (早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2024年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以
下のとおりです。なお、申し訳ありませんが振
込手数料はご負担ください。複数人まとめての
納入は、全員の名前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円 (聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号 : 00120-4-708239

加入者名 : 千葉県手話通訳問題研究会

けいわん110番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座 (衛生学)

TEL : 077-548-2187

FAX : 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX : 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通
研健康対策班に、ご相談ください。

FAX : 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近は、災害はいつ起きて
もおかしくない状況です。そのため、会員
の安否確認をよりスムーズにするため、専
用のフォームを開設しました。

災害の時は、自分から
アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1Tct53>



あ と が き

全通研創立50周年記念式典及び祝賀会が
10月5日(土)に神戸市で開催されます。
参加は事前申込制なので、希望される方は
9月20日(金)までに申し込んでください。
会員だれでも参加できます。また、記念式
典は個人視聴できます(申込不要 配信に
関する情報は10月1日にHPに掲載予定)。
詳しくは、全通研のHPをご覧ください。

みなでお祝いしましょう!(K)

先日、寺子屋の友人達と一緒にスタバ
nonowa 国立店へ行ってきました。メニュー
の指差しは禁止というルールを決めて、サ
イズやカスタマイズも手話で注文。一緒に
来られなかった友人から頼まれていたマグ
カップも無事購入できました。もっと勉強
してたくさんの方々と手話でおしゃべり
できるようにしたいな。(YK)